

【第3号様式】おきなわSDGs認証制度 主要評価項目（アクションプランに基づく活動計画書）

1. 団体情報

企業・団体名	損害保険ジャパン株式会社
--------	--------------

2. 申請内容

(1) 2030年のあるべき姿（ビジョン） ※記載必須

2030年のあるべき姿（ビジョン）		2030年のあるべき姿の実現へ向けに取組むゴール * SDGsの17のゴールから選択し、アイコンを入れてください。
<p>* SDGsの目標である2030年までに、「(2) 今後2年間で特に注力する活動・取組」の実施によって、貴社/団体が目指す未来を記載ください。 (貴社/団体が目指したい社会、目標の達成に向けて貴社/団体が考える課題、それに対して貴社/団体ができる取組の方向性など)</p> <p>弊社は沖縄の子どもの貧困や高齢者の移住手段など地域の課題解決に向け、「損害保険会社」の特性を生かし、取引先企業や弊社グループ企業と連携し、沖縄の子どもたちの職業の選択肢を広げ、将来沖縄の発展に貢献できる人物になれるよう、また子どもたちだけでなく高齢者が安全、安心して暮らせる仕組みづくり、県内企業で働く女性の悩みを共有し、沖縄を元気にする社会づくりなど、誰一人取り残さない、住みよいまちづくりを目指す。</p>		

(2) 今後2年間で特に注力する活動・取組 ※最低3個（経済・社会・環境）は記載必須

No.	今後特に注力する活動・取組			おきなわ SDGsアクションプランとの関係性		関連するステークホルダー	補足事項・留意点等	貴団体におけるKPI（進捗管理指標）		
	概要	分類 * 任意の箇所は、ブルグワンから分類を選択ください。	優先課題	SDGs推進の目標	関連するSDGs ターゲット	* 連携・協力するステークホルダー がいる場合に記入する。	* 補足事項等があれば記入する。	管理する指標	現状値 (2024年度)	目標値 (2026年度)
1	沖縄こどもみらい仕事体験イベント 小学生向けの仕事体験イベントを開催する。	経済	必須 優先課題④	④-2 県内企業の稼ぐ力を強化し、観光との連携・相乗効果なども活用することで、域内経済循環の拡大や県民所得の向上を実現する。	8.6 8.9 12.b	弊社取引先代理店・企業 沖縄県内企業（協賛会社）	* 2024年度は沖縄県からの委託を受け、当社企画・運営にて開催を致します。	イベント参加者数	2022年度 582名 2023年度 576名	2025年度・2026年度 本島1100名 石垣島600名 宮古島600名 (本島・石垣・宮古各2日間開催)
2	防災・減災セミナー 自治会等と連携して、地域単位で防災に関するセミナーやワークショップを行う。	社会	必須 優先課題⑨	⑨-1 行政、家庭、企業、ボランティア等の地域社会を構成する各主体が一体となって防災・防犯に取り組み、安全・安心に暮らせる地域を実現する。	11.1 11.3 11.5	社会福祉協議会 弊社取引先、関連企業 地域住民		開催数	2022年度1回 2023年度3回 2024年度3回 * 2024年8月時点	2025年度 6回以上 2026年度 8回以上
3	ハレの日応援プロジェクト 卒園式や小学校入学式に着用するスーツなどの洋服、小物類の寄付を募り、リユース品として必要とする家庭への譲渡会を行う。	環境	必須 優先課題⑦	⑦-2 持続可能な消費・開発、自然と調和したライフスタイルの形成、廃棄物削減などによって資源循環型の社会を実現する。	12.3 12.4 12.5 12.6 12.8	社会福祉協議会 弊社取引先、関連企業 個人		洋服譲渡数	2022年度 140点 2023年度 312点	2025年度・ 2026年度 350点以上
上記の取組に加えて、今後特に注力する取組があれば、記載ください。（分類を「経済・社会・環境・ガバナンス・地域課題への貢献・国際課題への貢献」から自由に選択ください）										
4	女性活躍セミナー 県内外で活躍する女性を講師に招き、県内企業で働く女性の情報交換、交流を目的としたイベントを開催する。	社会	任意 優先課題①	①-4 家庭、職場、学校、地域といったあらゆる場面でジェンダー平等、男女の機会均等を実現する。	5.5 5.c 8.8	弊社取引先代理店・企業 沖縄県内企業		参加企業数 参加人数	2022年度 27社(57名) 2023年度 37社(88名)	2025年度・2026年度 40社以上 (100名)
5	高齢者支援 ①地域の足車がない買い物などが困難な高齢者や地域に移動支援を行う。 ②高齢者安全運転講習会 高齢者向け安全運転講習会を開催する。	社会	任意 優先課題②	②-4 高齢者が安心して元気に暮らせる社会を実現する。	11.2 11.7	社会福祉協議会 弊社取引先、関連企業		①車両設置地域数 ②参加者数	2023年度 ①2地域 ②未実施 2024年度 ①2地域 ②20名 * 2024年8月時点	2025年度 ・2026年度（※累計値） ①4地域 ②60名

(3) 各活動・取組に関する詳細 ※記載必須

各活動・取組に関する詳細	
* 各取組内容を詳細に記載ください。なお、取組については現時点の達成度に限らず、将来的な展望や今後目指す展開についても必ず記入してください。	
取組1 取組の詳細	「沖縄こどもみらい仕事体験イベント」を、子どもたちの貧困が深刻な問題となっている沖縄で開催することで、子どもたちの将来の選択肢を広げ、働きがいのある仕事を見つけて充実した人生を送ってほしい。これからの沖縄のみらいを担う子どもたちが、将来どんな仕事を志すかを考えるきっかけになってほしい。また子どもたちの未来について親子で話し合えるよう、小学生という早い時期から社会の様々な仕事体験をさせてあげたい。そして沖縄のみらいをトランスフォームして沖縄の発展に貢献する人物になってほしい。との思いから2022年度より継続開催を行っている職業体験イベントです。仕事体験ブースの出展企業は県内企業・団体を中心として、県内の小学生達が県内企業・団体の仕事を知る機会となり、子どもたちが将来県内で活躍する人材となることで、長期的な視点で県内企業の人材を確保し沖縄県の経済発展に大きく貢献するものと考えております。
取組において、現時点で実施/決定していること	今年度は沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課から業務委託を受け、当社企画・運営により観光業の魅力を発信できるよう10月に沖縄本島、1月に石垣島、2月に宮古島のそれぞれ2日間、計6日間の開催が決定しております。昨年度までの課題として、主催の場合、協賛をいただいていたものの2/3を負担しており、費用面が厳しいという点がありましたが、委託により費用面の課題が解消されることで、これまで開催が難しかった離島でも開催できるようになった点が利点と考えています。昨年度までの本島開催の場合は離島のお子さまは参加することが難しかったのですが、今年度からは離島で開催することで、参加することができ、また離島の企業など参加する企業数も増えました。
取組において、今後予定していること	上記、年3回計6日間の開催に向け、8月には出展企業決定・説明会を開催しました。その後イベント本番まで準備作業を行ってまいります。また本イベントは今後も同規模での継続開催を予定しております。 イベントでは、2業種体験できますが、1つは自分で選択、1つは事務局で選択としています。そのため、小学生が知らなかった企業にも目を向けてもらえると考えています。また、今年は観光振興課の委託事業であるため、観光業の魅力を伝えるクイズラリーを用意しており、観光業の発展に重点をおいています。県内の魅力を発信し、県外への流出を防ぐことも目指しています。
KPIに関する指標の設定理由、目標値の妥当性、指標の計測方法	より多くの子どもたちに参加いただきたいとの思いと、一方でプロからしっかり学んでほしいとの思いから、企業・団体様もしっかりとひとりひとりを教えられるように人数を制限する抽選制とさせて頂いております。多くの子どもたちに参加の機会を持ってもらうため、開催数を増やし受け入れ人数を増やしております。人数に関しては、会場のキャパシティなどから考え、沖縄本島における受け入れ人数は約1100名、石垣島約600名、宮古島約600名という指標を設定させて頂きました。指標の計測方法と致しまして、当日受付での人数確認、かつ当日の子どものアンケートを集約し、参加児童のカウントを行います。
取組を推進する体制	弊社の沖縄支店内に「沖縄貢献チーム」を2022年度より設置しています。SDGs活動に取り組む中心メンバーとして企画・提案を行っております。本取組においては、メンバー中心に弊社沖縄支店、グループ会社の社員も含めて全員で出展企業への声かけ、その他イベントに係る業務を行っております。
取組2 取組の詳細	社会福祉協議会や地域から要請を受け、積極的に防災についてのセミナーやワークショップを開催しています。災害時に役立つグッズの作成方法や、家庭で日ごろから用意しておきたいもの、応急処置、子供向けの紙芝居など多岐に渡るコンテンツを用意し、その場に合ったセミナー、ワークショップを開催しています。また取組内容を周知するために、企業や団体に声掛けを行っております。昨年度は社協のセミナーに登場し、取組を紹介させていただきました。ホームページでも周知しているため、ご覧いただいた地域、企業さまよりお声がけ頂く場合もあります。
取組において、現時点で実施/決定していること	今年度においては那覇市松島にて防災ワークショップを開催しました。また7月にはうるま市社会福祉協議会からの要請を受け、うるま市の防災セミナー、ワークショップが決定しています。
取組において、今後予定していること	取組1のイベント内でも防災ワークショップを行います。またうるま市の地域ごとの地域住民を対象としたセミナーも開催予定です。それぞれの要望にお応えし、内容を都度変更しての防災セミナー、ワークショップを開催予定です。 公園などにおける、防災訓練と防災訓練以外のコンテンツ（物資輸送のトローンを飛ばす、電気自動車の発電体験、赤十字と連携した災害トイレの体験、防災ワークショップ）を含む防災イベントも企画しています。
KPIに関する指標の設定理由、目標値の妥当性、指標の計測方法	弊社の取り組みを知っていただき、広まることを目指しています。多くの方に体験して頂き有事の際役立てて頂きたい、地域からの要請になるべくお答えしたいとの思いから、昨年度より多くの開催を予定しております。
取組を推進する体制	弊社の沖縄支店内に「沖縄貢献チーム」を2022年度より設置しています。SDGs活動に取り組む中心メンバーとして企画・提案を行っております。メンバー中心に、弊社沖縄支店全体で本取組を行っております。セミナーの講師は、沖縄貢献チームのメンバーを中心に、社内の職員が担当しています。

取組 3	取組の詳細	<p>「ハレの日応援プロジェクト」は保育園の卒園式にスーツやワンピースなどの制服を着用して参加できないお子様を目の当たりにし、弊社でも何かできないかと考えたことをきっかけに始まったプロジェクトです。社内外にサイズアウトしたリユースの制服の譲渡を呼びかけ、2022年度より弊社会議室にて必要とされているご家庭へ譲渡会を開催しております。リユースということで環境に優しい取り組みを目指しております。</p> <p>取組において、現時点で実施/決定していること</p> <p>今年度も2月に譲渡会が決定しております。このイベントは着用回数の少ない制服をリユースにて、制服が本当に必要とされている家庭への譲渡を目的としています。当社・グループ会社はもとより、県内企業に呼びかけ多くの制服を寄付して頂き、本当に必要な家庭へ譲渡できるように、社会福祉協議会や母子寡婦家庭連合会と連携し譲渡会のチラシを配布してもらい、応募により会場へ来て頂いています。</p> <p>取組において、今後予定していること</p> <p>9月より今年度の制服譲渡会に向け、制服譲渡のお願いを社内外に呼びかけを行います。また本プロジェクトは次年度以降も継続開催を予定しております。譲渡会に来場し、制服を頂いた皆様へは、不要になった場合、翌年には返却依頼する等により周知しています。返却依頼について、今後は以下の方法によりシステム化していきたいと考えています。</p> <p>①譲渡会来場者受付フォームに「次年度、不要になったら返却可能ですか？」の質問を設ける ②上記で可能だと回答した方へ、翌年の譲渡会開催3か月前にメールを発信し、返却を依頼し回収する。 ③譲渡会当日もヒアリングをし、返却可能な方から、必要な情報を取得し、上記②と同じ対応をする。</p> <p>KPIにする指標の設定理由、目標値の妥当性、指標の計測方法</p> <p>継続開催を行う上で、寄付数の減少が気になるところではありますが、弊社の特性を生かし、全国の弊社グループ企業へはメールやチャット、SNSで呼びかけをし、また沖縄県内外の関連企業や取引先、個人へチラシや新聞掲載により呼びかけを行っています。必要としているご家庭へ1点でも多くの制服をお届けできるよう計画をしています。指標の計測方法としては、制服の寄付数を集約し、当日譲渡させて頂いた点数と照合します。また、譲渡させて頂いた方にアンケートを今年度も実施します。</p> <p>取組を推進する体制</p> <p>弊社の沖縄支店内に「沖縄貢献チーム」を2022年度より設置しています。SDG s 活動に取り組む中心メンバーとして企画・提案を行っております。本取組においては、メンバー中心に弊社沖縄支店、グループ会社の社員も含めて全員で関連企業、お客さまへの譲渡の呼びかけ、その他プロジェクトに係る業務を行っております。</p>
取組 4	取組の詳細	<p>様々な企業で活躍する女性を講師にお招きし、講演会を聞いて頂くこと、また異業種間での交流を通じて、多様な働き方・考え方に触れ、自身のキャリア、働く女性のワーク・ライフ・バランスについて、新たな気づきを得る事と、将来の沖縄の課題を解決するためのネットワークの構築を図る目的で実施しています。</p> <p>取組において、現時点で実施/決定していること</p> <p>2023年11月7日に2回目の交流会を開催。3名の登壇者を講師に招き、経験談に基づきキャリアアップについて講話を頂きました。講師については、県内の企業で活躍している女性を、経済同友会や取引企業を通じて依頼しています。企業37社より88名の方に参加頂きました。講演のテーマは講師の方に一任していますが、ワークショップの内容は応募の際の事前アンケートで取り上げて頂きたいテーマ（子育て・家事・介護との両立、職場における理解度、男性が多い職場での障壁等）を選んでもらい、その中から多いテーマを当日ディスカッション、発表をしてもらっています。</p> <p>取組において、今後予定していること</p> <p>2024年11月7日に3回目の交流会開催を予定しております。今年度も3名の方を講師にお招きし、講演会、ワークショップを開催する予定です。今後はグループワークで構築できたネットワークを深め合い、参加したメンバーの1年後のキャリアにもフォーカス出来る仕組み作りを行っていきたくと考えています。グループワーク後にグループ内で名刺交換をすることを促すことで、グループワークのグループで継続して繋がりを持つことを、働き掛けたいと考えています。</p> <p>KPIにする指標の設定理由、目標値の妥当性、指標の計測方法</p> <p>多くの企業の方と交流を持つことで、自身のキャリアやワークライフバランスなどを考えるきっかけとしてほしい、また悩みを共有してほしいとの思いから昨年度より多くの企業への参加を呼び掛ける予定としております。指標の計測方法といたしましては、事前申込制とし、参加企業数や参加人数を集計します。</p> <p>取組を推進する体制</p> <p>弊社の沖縄支店内に「沖縄貢献チーム」を2022年度より設置しています。SDG s 活動に取り組む中心メンバーとして企画・提案を行っております。本取組においては、県内企業で活躍している女性の管理職の皆さんに当社管理職も含めメンバーより、講師依頼の声かけを行っております。またイベントへの応募に際しては、チラシを活用し、弊社関連企業や経済同友会メンバーを通してキャリアアップを目指しているメンバーを募集しております。</p>
取組 5	取組の詳細	<p>高齢者の移動支援を目的に、①地域の足、②高齢者案線運転講習会を弊社主催で実施する。</p> <p>①地域の足：高齢者の方が移動することが困難な地域（交通公共機関不足など）にカーシェアを設置し、ボランティアドライバーにより高齢者をスーパー等に送迎サービス（無料）を提供しています。弊社が沖縄トヨタ・沖縄県社協と連携しサービスを提供しています。ボランティアドライバーは社協を通じて募集し、弊社が講習を実施しています。講師は弊社社員が担っており、ツールを使用して運転技術に関する注意点を伝えています。送迎サービスは水・金曜日のみと決まっております、その他は一般のカーシェアとして提供することで運営しています。</p> <p>②高齢者安全運転講習会：高齢者向け安全運転講習会を、弊社の保険への加入有無とは関係なく、ボランティアで実施しています。弊社が沖縄県警察本部交通部・沖縄トヨタと連携して7つの交通安全コンテンツを無料提供し高齢者の方々に体験いただき事故防止に貢献します。講習会の主催は弊社ですが、コンテンツは沖縄県警察本部交通部・沖縄トヨタからもボランティアで提供いただいています。弊社からは、脳活動チェック等のコンテンツを提供しています。</p> <p>取組において、現時点で実施/決定していること</p> <p>①地域の足：那覇市首里大名地区に1台設置済。南城市役所に1台設置済です。今後、うるま市等でもサービスを提供することを検討中です。那覇市社協HP⇒https://www.nahasyakyo.org/sp/topics/1678408045/ ②高齢者安全運転講習会：2024年5月24日に普天間教習所について開催済です。65歳以上の高齢者が約20名参加しました。TVニュース⇒https://www.qab.co.jp/news/20240519211710.html</p> <p>取組において、今後予定していること</p> <p>①地域の足：今後、うるま市・沖縄市等でもサービスを提供することを検討中です。首里大名町で2つの実証実験を実施中であるため、その結果を踏まえてうるま市や沖縄市と、持続可能な取組として実施するための方法を検討予定です。 ②高齢者安全運転講習会：沖縄県警察本部交通部と連携して、他地域で9月頃に2回目を実施することを計画中です。</p> <p>KPIにする指標の設定理由、目標値の妥当性、指標の計測方法</p> <p>①地域の足：沖縄県内の高齢者が移動困難な地域に1つでも多く貢献するため。 ②高齢者安全運転講習会：多くの高齢者に講習会に参加いただき、沖縄県内における高齢者による自動車事故の減少に貢献するため。</p> <p>取組を推進する体制</p> <p>弊社の沖縄支店内に「沖縄貢献チーム」を2022年度より設置しています。SDG s 活動に取り組む中心メンバーとして企画・提案を行っております。地域の足は社会福祉協議会との連携を軸に当社より困っている地域がないかどうかを調査し、市町村単位での横展開を図っていきます。高齢運転者は沖縄県警察本部との連携を取りながら各地域での開催を行っていきます。</p>